

Quarterly Report

四半期活動レポート

2023年07月-09月

2023

vol.12

CONTENTS

四半期活動レポート（2023年7月-9月）

P. 01 > **Fukuoka Smart City Community**について

P. 02 > **進捗のご報告**

① 「FSC MeetUP!」 第二回開催

■ 各班発表内容

P. 03 > ■ 参加者の声

■ 事後アンケート

▶ 主催企業

西部ガスホールディングス株式会社 事業開発部 小川さん

P. 04 > ② 「ペット防災」啓蒙活動

■ 活動一覧

P. 05 > ▶ シド マオの"Your morning color"(LOVE FM)に
ラジオ出演しFSCとペット防災についてお話してきました!

P. 06 > **その他の共創プロジェクト**

■ 西九州新幹線「かもめ」開業1周年記念イベント「GO WEST」

P. 07 > **定例での活動について**

▶ 全体会議(毎月1回)

▶ 「プロジェクトF」

Fukuoka Smart City Community について

次の100年も、みんなで福岡をつくるんだ

これまでの100年で、福岡は大きく成長を遂げました。

まちに誇りを持ち、よりよくするための声を唱えてきた市民、
暮らしの基盤となるサービスを生み出してきた企業、
自治体や学校も、みんなでつくってきたのが今の福岡です。

私たちFukuoka Smart City Communityは
次の100年もそうであって欲しいと願い、
みんながまちづくりに携わる場や機会をつくります。

日々、多くの市民と接する企業が集まる多様なコミュニティだからこそ、
今後ますます複雑化するまちのニーズに丁寧に向き合いたい。

デジタルに限定しない解決策をみんなとともに考え、解決していくことで、
福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献します。

私たちが大切にすること

市民のニーズをもとに、 持続的な地域社会貢献に 取り組む

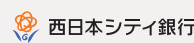
福岡に根ざす企業・自治体(オブザーバー)の共同事業体として、市民の納得・満足を追求しながら活動し続けます。

自治体/企業/市民の セクショナリズムを超える

異なる専門知識やスキル、バックグラウンドを持った企業が組織や役割を超えてより高い価値を提供します。

抽象的な議論より具体的な アウトプットを重視する

各企業のアセット活用などデジタルに限定しない柔軟なアイデアで、市民のためにできることをどんどん実行します。



※福岡市はオブザーバーとして参画

博多や天神といった主要エリアの再開発が進む福岡のまちは、現在大きな変化の真っ只中にあります。そして、長く続く感染症の流行も新たなフェーズに移行しようとしている2023年春以降は、その変化がより一層加速していくことが予想されます。そんな過渡期にある福岡で、FSCは発足3年目を迎えました。私たちはこれからも、その時々々のまちや市民のニーズと向き合い、課題を解決したり可能性を広げたりすることを目指して施策の実施を進めてまいります。

進捗のご報告

1

「FSC MeetUP!」第二回開催

人材交流



若手社員の越境交流の場として「FSC MeetUP!」を第一回に続き開催しました。この取り組みは、所属会社の垣根を超え、異なる価値観を交えることで、“新たなアイデア”と“人のつながり”を生み出そうとするものです。第二回目のテーマは「未来×福岡×FSC」です。FSC会員企業、団体の20～30代の社員19名が参加し、未来の福岡について話し合いました。

第一回テーマ

未来の福岡

- Q1 福岡を語ろう(福岡の好きなおところ、福岡の課題、大事にしている価値観は?)
- Q2 理想を語ろう(2035年の福岡をどんなまちにしたい?)
- Q3 理想の未来に向けた施策を思い描こう(理想の未来に向けてFSCで出来そうなことは?)

第二回目ということもあり開始から和気あいあいとした雰囲気ディスカッションがスタートし、沢山の意見が交わされていました。最終的にそれぞれ各班から出た意見を共有し、「理想の未来に向けた施策」を発表しました。



▶各班発表内容

A班



子どもがバリ育つまち

#英語 #金融 #防災

学校へFSC社員が向き幼少期から英語や金融の知識を付ける。
学校で防災イベントを開催し、子どもの頃から一人ひとりが災害時の対応のベテランになる。

B班



一番住みたい!と思われるまち

#オシャレ #世界三大料理都市

FSC企業がオシャレ補助金を出しバリの様な洗礼されたまちにする。
美味しいお店をFSCのSNSで発信する。

C班



“ちょうどいい”まち

#都市と自然の距離 #ストレスフリー

生活圏と都市や自然の距離が近いことを活かし、一極集中させずに各所で地域を盛り上げるイベントやお祭りをFSC主催で開催する。

D班



働きたく、住みたくなるまち

#新しい事をするバイタリティー #海外

週休3日制など、働きやすさの向上を目指す制度を積極的に取り入れ、福岡で働く人の選択肢を増やす。
アジアに近い立地を活かした取り組みにもFSC発で挑戦する。



今回は「福岡」というまちをテーマにしたことで、一市民としての意見や、そこで働きまちを支える会社の社員としての意見の両側面から、異なる価値観が交わった回でした。参加者の、一市民として「もっとこうだったらいいのに」という要望に対して、実はFSC参画企業のコラボレーションで実現できそうなものが多数あることが判明し、私たち地場企業のポテンシャルを再発見することが出来ました。理想の未来に向けて、地場企業が集まるFSCで「もっとやっぺいこう！」そんな機運が高まる第二回MeetUP!でした。

～参加者の声～

- 普段の業務では出てこないようなアイデアを交換できたことが、大変良い経験になりました。
- これからの福岡について、他企業の方の意見を踏まえて話し合うことができてよかったです。
- 普段の仕事とは違い、皆で進めている感覚がありいい経験になりました。

▶事後アンケート

【満足度】



■ 大変満足 ■ 満足

【共感度】 ※企画の趣旨・目的に共感できたか？



■ とても共感できた ■ 共感できた



主催企業

西部ガスホールディングス株式会社 事業開発部 小川さん

「FSC MeetUP!」のキーワードは「越境」です。越境することで、多様な人と繋がることができ、その繋がりが思いもよらぬ出会いや、仕事や、価値創造に結びつくと私自身考えています。参加者にとってこのFSC MeetUP!がそんなキッカケになっていれば嬉しいです。第1回、第2回と満足度が高く好評だったので、この結果を踏まえ異業種が集まるFSCが「越境のハブ」になれるよう、企画をブラッシュアップしようと思います。どうぞご期待ください！

■ 総数約1.1万票の投票結果を受け1位に選ばれた「ペット防災」の啓蒙活動



FSCでは、総投票数1.1万票の中から「防災選」※1で1位に選ばれた「ペット防災」について、FSC参画企業保有の店舗にて、ポスターの掲示やペット情報カード※2の配布、監修者によるセミナーの実施などを通して、引き続き啓蒙活動を行っています。

※1 FSCが取り組む防災課題をオンライン投票形式で決定する市民参加型プロジェクト(2022年3月~4月実施)

※2 ペットと飼い主の情報を記載して持ち運べる名刺サイズのカード

活動一覧

グッデイの福岡市内10店舗にてポスターの掲示、ペット情報カードの配布

●店内にて啓蒙ポスターの掲示、ペット用品コーナーにてペット情報カードの設置、レジでペット用品をお買い上げ頂いたお客様へペット情報カードの配布を行う

<店舗スタッフの声>

配布開始から3日間程で配布が終了しました。
お客様の声は、「こんなカードがあるんですね」といった声や「昨年ももらって追加してほしい」など浸透しつつあるなど感じました。



▲店内での施策の様子



▲店内に掲示されたポスター

福岡市南区の自主防災組織にてペット情報カードの配布がスタート

●インターネット上でFSCの取り組みに関心を持った自主防災組織より、福岡市地域防災課に問い合わせが入り、ペット情報カードの配布を行うことに



ペットの名前	●	性別	●
種別	●	年齢	●
性別	オス / メス	種別	●
ペットの所有者が暮らして居る中庭裏の敷地など特約がわかるもの	●	不特定多数者	●
狂犬病ワクチン接種	●	年月日	
混合ワクチン(種)接種	●	年月日	
ノミダニ駆除薬の接種	●	年月日	
飼育者			
マイナンバー	●	氏名	●
電話番号	(携帯番号は必須)		
住所	〒		
緊急連絡先	氏名		
注意事項 (40字以内)	緊急連絡先		

◀ペット情報カード

ペットと飼い主の情報を記載して持ち運べる名刺サイズのカードで、災害時にペットとはぐれてしまったり検索する際や、飼い主が急な怪我や病気で誰かに飼育を頼まなければならない際に役立ちます。(左記画像)



活動一覧

当企画監修、富士岡剛氏による講習の実施

●「ワンヘルスパーク」での講習の実施 | 福岡市舞鶴公園三の丸広場

福岡県職員、北九州市獣医師会会長、中央区のペットサロン経営者、地域住民ほかが参加する中セミナーが行われ、「ペットを取り巻く地域の課題解決のためには、行政・民間・住民がそれぞれの得意分野で力を発揮し、連携して推進していくべき。」と語られました。



●「KOKO ONE FES(ココワンフェス)」での講習の実施 | 九州災害時動物救援センター

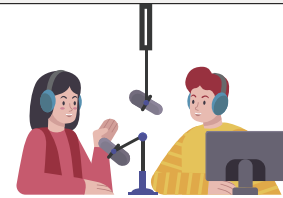
ペットと生活するために必要な知識や災害時の対応について学ぶことができるドッグフェスが九重町で開催され、主に災害時の対応について講演を実施しました。



富士岡剛氏：一般社団法人 HUG(熊本市)代表理事
令和3年度福岡市動物の愛護と管理推進協議会委員
令和3年度北九州市動物の愛護と管理に関するあり方検討会構成員
ペット災害危機管理士1級特別講師

シド マオの"Your morning color"(LOVE FM)にラジオ出演しFSCとペット防災についてお話ししてきました!

8/21~8/25(月~金)の5日間に渡り、毎日10分ずつ放送されました。



番組内容:福岡出身のマオ(シド)が、地元、福岡で頑張っている方、そしてマオが気になっている方に出会ってお話を伺っていく中で、そのパワーの源を探って、皆さんにシェアするプログラム

~X(旧 Twitter)での声~

市民のことを考えて活動をしていくと街も便利になっていく❖素敵なお仕事ですね
ペット防災、早速調べてみました😊絵がとっても可愛くて読みやすいって思いました😊

ペットの防災とっても素敵ですね❖私にも猫が居て3ヶ条大事ですね❖定めるだけでなく、福岡から広める為の限定のイラスト素敵ですね❖凄い活動をされてる方が居るんだなあて#ユアモニを聴く度に思います何かあった時絶対猫を連れてたいので日頃からの心がけ大事ですね🐾

数日前に地震があったので、我が家のペット様の避難グッズ点検しました。昨日もフードの入れ替えしました。

マオさんも普段からの備えの大事さを伝えてくださっていて、今回改めてペットの防災についても考えることができ学べた一週間でした。ペットも大切な家族の一員、飼ってる人もいない人も理解を深めて情報や避難所などもっと広がっていったらいいですね😊



その他の共創プロジェクト

■西九州新幹線「かもめ」開業1周年記念イベント「GO WEST」 観光・まちの魅力

FSC会員：九州旅客鉄道株式会社／LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社



九州旅客鉄道株式会社(以下JR九州)は2023年9月23日に、～西九州が真っ赤に染まる日～「GO WEST」西九州新幹線開業1周年記念イベントを実施し、LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社(以下LINEヤフーコミュニケーションズ)は「LINEを活用したDX推進パートナー」として参画しました。LINEヤフーコミュニケーションズは、本イベントの一つとして実施される、かもめのお掃除イベント「GO MARU-ARAI」～1年間がんばったかもめを丸洗いしよう～の参加者の応募受付・当選連絡を、JR九州LINE公式アカウントで行えるよう、企画と運用をサポートしました。公募には定員150名に対して8,756人(当選倍率約58倍)の方々にお申し込みをいただいています。2社が協働することで、お客様にとってより便利でスムーズなイベント参加を実現しました。

イベントHP：<https://www.jrkyushu.co.jp/train/gowest/>

トークルーム

応募フォーム

応募完了通知

受付パス

※受付パス画像はイメージです。
受付パスは当選者にも後日配布します。

▲ JR九州LINE公式アカウント応募～受付パス表示の流れ



▲ イベント当日の様子

詳細はこちら：<https://lycomm.co.jp/ja/pr/news/2023/073115>

定例での活動について



※写真はイメージです

▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。7~9月期には以下の日程にて実施しました。

● 7月6日(木) ● 8月3日(木) ● 9月7日(木)

▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで知見を共有するプロジェクト。今回のテーマは「自由」。7~9月期には以下の企業が発表を行いました。

- 8月:株式会社西日本シティ銀行「西日本シティ銀行本店本館建替えプロジェクト」
- 9月:福岡市「公園を利活用した取組み」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で複雑化するまちのニーズへ丁寧に向き合い、解決策を社会実装することを通して、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献してまいります。

(Fukuoka Smart City Community 概要)

名称/Fukuoka Smart City Community

事務局所在地/福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日/2020年10月14日

主な事業内容/市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト/<https://fukuoka.smartcity-community.jp>